

令和4年度「みそのもくもく DAY! in アルヴェ」学生の振り返り

(学びのねらいとしている保護者との関わりについて抜粋しました)

○今までのもくもくと違い、子どもだけでなく保護者の方とたくさん会話することが出来ました。私から話しかけることもあれば、保護者の方から話しかけられることもありました。特に嬉しかったのが、子どもと保護者の関わりがあり、楽しそうに会話しているところを見ることができたことです。初めは子ども一人で遊んでいましたが、「お母さんも積み木触ってみてください。」と声をかけたり、少し見守っていると、保護者の方もブルーシートの中に入り、子どもと一緒に遊んでいました。親子が楽しそうに関わっている姿をたくさん見ることができ、今回頑張ってよかったなと思いました。

○初めてもくもくに参加した方がとても多く、「初めて来ましたが、大人も子どもも楽しめるとても良い活動ですね。」や「学校ではいつやっていますか？どんな活動をしていますか？」、「学校のもくもくにも絶対いきます！」と言っていただき、準備を頑張ったこと、丁寧に対応したこと全て良かったと思う。

○コーナーが混んでくると、一人で親子2～3組を対応することがあり、あわててしまうことが何度かあり反省している。準備が大変になること、親子と深く関わりにくくなってしまう可能性があるが、簡単な作り方説明書があったら良かったのかなと思った。

○今回のもくもくは保護者同士で子どもについて会話している場面がありました。いつもは知り合いの保護者が会話していることが多いですが、今回は初めましての保護者で、もくもくの場がお母さん、お父さんにとっても良い場になっているなど感じられて嬉しかったです。

○前半の1時間は、人形作りコーナーを担当しましたが、座る椅子が無くなるくらい子どもと保護者が来て、説明ができずに待たせてしまった場面が何度かありました。しかし、誰一人と文句を言わずに待っていただき、良い保護者の方ばかりだったと感じました。最初の方は少し余裕もあったので、保護者に「写真撮りましょうか？」など積極的に関わる事ができて良かったです。子どもと保護者が一緒に写真に写ることはそんなに多くないと思うので、そのような機会をつくれたのはよかったと思います。保護者も嬉しそうな表情で子どもと写真に写っていたので、親子のふれあいの場にもなったかなと思いました。

○今回の活動は、聖園幼稚園の子どもが来ないので、保護者とどのように関わろうか悩んでいたが、実際に活動が始まると、子どもの言動に保護者と共に反応することで少しずつ会話を増やしていった。遊び方が分からないとご夫婦で話す方もいて、あらかじめ積み木の遊び方を学んでから、活動に臨んだことがとても役立ったと思う。